

平成 24 年度第三回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 24 年 11 月 5 日（月） 午後 3 時～午後 5 時 10 分	
開催場所	魚津市役所第一分庁舎 2 階会議室	
出席者	<p>【魚津市行政改革推進委員】</p> <p>中村和之、慶野達二、青山芳枝、浅野朱実、 岩井哲雄、岡本安克、吉田譲、若林忠嗣</p> <p>【事務局】</p> <p>沖本企画総務部長、殿村総務課長、新浜財政課長、南塚総務課長代理 宮崎財政課長代理、武隈財政課主任、広田総務課主任</p>	
欠席者	なし	
開催形態	公開（傍聴者 1 名）	
議 題	<p>○議事</p> <p>1 公共施設のあり方検討について</p> <p>2 第四回委員会について</p>	
会議概要 15:00	事務局	<p><b>○議事</b></p> <p>それではこれより、第三回魚津市行政改革推進委員会をはじめていきたいと思います。</p> <p>本日の予定ですが、次第のとおり進めていただきまして、午後 5 時ごろ終了を予定しております。</p> <p>それでは早速議事に移りたいと思いますが、はじめに事務局のほうからお配りした資料について簡単にご説明させていただきたいと思います。</p> <p>本日お配りしております資料No.1 につきましては、前回の委員会において皆様から出していただきました意見などを参考にしまして、前回の資料に肉付けした内容となっております。</p> <p>また、皆様からのご質問に対する回答で、資料No.1 に載せにくいものにつきましては、参考資料として別に配布しておりますので、そちらのほうもご覧いただきながらご検討いただければと思います。</p> <p>資料No.1 の内容については前回と大きく変わっているところはございませんので、本日は事務局からの説明は省略させていただきまして、前回同様、各分類ごとに進めていただきまして、課題などを洗い出していきたいと思います。</p> <p>なお、前回の委員会において申し上げましたが、あり方検討のイメージとしまして、中間報告では現状把握と課題を整理したものを載せていきたいと考えていることから、中間報告に向けて課題や検討の視点などを整理していく必要がございますので、本日改めて配布しました事務局メモの内容についても合わせてご議論いただければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは、この後は会長に進めていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは早速、三回目の魚津市行政改革推進委員会を進めていきたいと思ひます。</p> <p>今ほど、事務局からの説明にもありましたように、今年度末を目途としまして中間報告をこの推進委員会として取りまとめる予定でおります。</p> <p>その際には、施設の方向性といったものよりは、その前の段階のどちらかといいますと課題、あるいは現状の認識、あるいは議論のたたき台というふうなところをこの委員会としてまとめていきたいと思ひます。</p> <p>それから、市民の皆さんの意見を反映させながら最終的な提言というスケジュールで進めていきたいというふうに考えております。</p> <p>それで、本日は前回お配りしました資料No.1に沿ひまして、あるいは前回の説明の中で委員の方々からご質問あるいはご要望が出ました資料等を事務局のほうで揃えていただきましたので、それを基にして今一度各施設の課題について整理していきたいと思ひます。</p> <p>先ほど事務局からお話がありましたとおり、事務局メモというこの資料がひとつの論点整理のより所になるのかなと思ひますので、これに付け加えていただく、あるいはこれを修正するといった作業を通じてもう少し具体化を図ってきたいというふうに思ひます。</p> <p>本日3回目ということで、ややテンポが遅いと思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、なにぶん市民にとって大きな影響を与える事項ですので、我々としては出来る限り慎重に議論を尽くして進めてまいりたいというふうに考えております。</p> <p>それでは資料No.1の3ページを見ていただきますと、今回対象としております施設がAからHまで分かれております。</p> <p>本日の予定といたしましては、これをひとつの区分ごとに一定の時間をとってご議論いただくという形で進めてまいりたいと思ひます。</p> <p>それでは早速でございますが、Aの市庁舎等というところから検討を進めていきたいと思ひます。</p> <p>市庁舎等については、資料No.1の6ページから10ページまでの4ページにわたって基礎的な数値が記載されており、これは事務局のほうから前回の委員会でご説明いただいたところでございます。</p> <p>それから、参考資料としましてNo.2のほうに前回のご質問に対する事務局からの回答資料が配布されております。</p>
<p>事務局</p>	<p>参考資料No.2について、あらましか事務局から説明いただけますか。</p> <p>参考資料No.2につきましては、本庁舎及び第一、第二分庁舎それぞれの光熱水費や修繕費等について、24年度の予算額をベースに記載してござい</p>

		<p>ます。</p> <p>統合前と書かれているものが 24 年度予算額をベースにそれぞれの分類ごとに費用を細分化したものでございます。</p> <p>そういった費用について、第一分庁舎及び第二分庁舎を本庁舎に統合した場合ということで、その際、それぞれの金額がどのように変化するか、その予測値が統合後の金額でございます。</p> <p>その統合前と統合後の差額が約 2,400 千円ということで、維持管理費的にはそういった金額となりますが、それ以外にも建物や土地をその他の用途へ有効活用できるといったメリットも出てくるものと考えております。</p> <p>(1) がそういった検討についての内容でございます。</p> <p>(2) のほうであります、本庁舎の現在の電気設備や冷暖房設備を高効率化を図った場合の費用の削減額はどのくらいか検討した資料となっております。</p> <p>電灯については LED 蛍光灯へ切り替え、冷暖房設備についても効率性の高い空調機へ取り替えるといったことで、その際の電気料金の節減効果は年間で約 3,200 千円ほどとなります。</p> <p>しかしながら、取替え工事については全体で約 75,000 千円ほどかかってきますので、その実施については慎重な判断が必要であるものと考えております。</p> <p>現在、市のほうでは本庁舎の耐震化なども検討していく必要があるということでありまして、そちらのほうにも多額のお金が見込まれておりますので、そういったことから部分的な改修がいいのか、それとも一気にすべて建て替えたほうがいいのか、そういった色々な検討の視点があるかと思っておりますので、そこら辺りも踏まえて、ひとつの判断材料としてご覧いただければと思います。事務局からは以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>前回の委員会で出た質問として、維持管理費の変化ということについてご回答いただいたところです。</p> <p>それでは、この市庁舎等につきまして、課題として付け加えるべき点、あるいはこういった視点が欠けているのではないかというような点、あるいはこうすればよいのではないかというようなことなど、どういったことでも結構です。どなたからでも構いませんのでご意見をいただければと思います。いかがでございましょうか。</p> <p>事務局メモで課題整理されてますけど、前回の委員会において、市民にとっての利便性ということで、分庁舎になっているとちょっと不便だという意見が出たかと思っておりますけど、その点についても課題ではないでしょうか。</p>
	会長	
	会長	

事務局	<p>事務局メモにおいて課題としてはあがっておりませんが、検討の視点のところで「市民にとって利用しやすい施設となっているか」ということで、そういった視点で見たときに、場所が離れていて窓口も別だということで市民にとって利用しにくいということが課題としてあがってくるものと思っております。</p>
<p>会長 A委員 事務局</p>	<p>その点についても課題として取り上げていただければと思います。</p> <p>スペース的に本庁舎に第一、第二分庁舎を統合することは可能ですか。現在、本庁舎には職員が200名弱いると思います。</p> <p>第一分庁舎は平成11年に税務署跡地を購入し教育委員会が入っておりますが、都合が悪い点としては、転入された方で小・中学生がおられる場合、本庁舎の市民課で色々な手続きをとってから、学校関係はこちらの第一分庁舎に来なければならないという不都合がございます。</p> <p>平成11年以前は本庁舎の4階に教育委員会があったわけで、その時は同じ建物の中でできたのですが、それができなくなったということであります。</p> <p>第一分庁舎については昭和41年に建設されたもので、機械設備的なものが非常に老朽化してきておりますし、屋根の漏水防止工事なども行っており、状況とすれば第二分庁舎も同程度だと思えます。</p> <p>本庁舎では手狭になったから分庁舎を求めたというよりも、国の施設を買い取ったところに市の機能を充てたものですから、当時、本庁舎に250名程度いたところから見れば現在200名弱ですから、統合できないことはないと思います。</p> <p>ただし、事務機器とかについては昔と大きく変わっておりますので、レイアウトの検討などは必要でしょうし、第一分庁舎にはほかに新川広域圏事務組合や交通センターが入っておりますので、そういった機関の取扱いについても考える必要があると思っております。</p>
B委員	<p>我々の使命とすれば、ハードをどうするかということだと思えますが、例えば本庁舎、第一分庁舎、第二分庁舎をどこか1箇所にとまとめるとすれば、おっしゃったとおり利用者側からの利便性という意味ではまず1つ目的は達成するわけですけど、かといって、現在の人員、業務をそのまま1箇所、本庁舎に入るかというとなかなかそういう訳にはいかないだろうと思えます。そうすると、今度は民間委託という問題に入っていくかと思えます。それらを一緒にして考えてしまうと問題がどんどん難しくなってしまうって、なかなか前に進まないということになります。だから、耐震性、老朽化、コスト、利便性といったそういうものを総合的に判断して、荒っぽい言い方ですけど3つを1つにして、そこで収納できなければ外に出していく、といった道筋でもいかないとなかなか解決策は見出せないのでは</p>

<p>会長</p>	<p>はないかという気がします。</p> <p>確かに庁舎の問題として突き詰めて考えていくと色々なことが関係してきますので、当座としては公共施設のあり方というところに我々としては軸足を置きつつ、その中で、例えば庁舎であれば統合は出来ないかというところで、問題を1つ投げかけるというところがまずは大事なんだろうと思います。</p> <p>ちなみにやり方としては統合しか考えられないのでしょうか。例えば、日常、市民の方が庁舎を訪れるときにいわゆる窓口的なサービスをというのを本庁舎にまとめてしまって、そのほかはそれこそ外にだしてしまうと、ただ、外といっても第一分庁舎などに限ったことではなく、どこか別の場所でできるのかどうか分かりませんが、民間で空いているスペースを借りるだとかそういった形で外に出してしまうというようなやり方の検討もあってもいいのかなと思います。</p> <p>結論はまだ出さないということからいうと、統合と決めてしまうのは先走ったことになりませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>色々なやり方を含めて検討していくことが必要だと思っております。</p> <p>統合が良いかどうかという問題もございまして、建物を1つにするというよりは機能的に1つにしていくという方法が探れないかどうかということが重要な視点なんだろうと思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>統合と結論づけてしまうと色々問題がある気もしますが、もともと1つの庁舎でやっていて職員数も減っているという中で、やはりそういった方向で物事を考えないと、経費削減ということを達成できないような気がします。</p> <p>B委員がおっしゃるとおり、ざっくりと3つを1つにしたうえで不都合な面がどういうところがあるか抽出して行って、それにどのように対応できるのか、という考え方のほうが早いような気がしますし、逆に1つにできない理由がないように思えますので、目的が経費削減というところにあるのであれば、維持管理費にも相当お金がかかっていると思いますので、そう考えると、もともと1つであったものを改めて1つに戻すというのは大事なことはないかと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>3つの施設のうちどれかがすごく新しくて、残りが老朽化しているとかそういうことならいいのですが、3つとも老朽化しているということが問題だと思います。</p> <p>維持管理費について、3施設をこのまま継続して行って、例えば暫定的に冷暖房設備を1つずつ直していったとしても非常にコストがかかると思いますので、利便性やコストの面からも3つの施設を1つにしたほうがいいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>全ての委員のご意見をお伺いしたわけではありませんが、統合していく方向というのは、この委員会のひとつの方向性なのかなと思います。</p> <p>機能的に行政サービスを提供する、あるいは庁舎内部での効率性を上げるという面からも、現在の状態は問題を抱えているという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうだと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、そういった点についても課題にあげておいてください。</p>
<p>A委員</p>	<p>考え方を変えて、50年ペースで考えて50年間使えるものと考えたときに、耐震化などを行って今あるものを50年間維持していく場合と、効率的な施設として3つを1つにしてコンパクトなものでやっていくとした場合では、費用でどのくらいの違いがあるか試算したことはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>試算したことはございませんが、耐震化をためらっていますのは、現在、小・中学校を集中的に行っているということも1つありますが、もう1つあるのが、あと十数年もすれば建替えみたいな話にもなってくると思いますので、耐震補強に3億円以上つぎ込んで、あと数年すれば建替えるみたいな話になってくるものですから躊躇しているところでもあります。</p> <p>本庁舎は42年に建てられましたが、耐震化されていないことから耐震化の調査を行って耐震補強しただけで3億から4億円程度の費用がかかります。ただ、それで良くなるかといえばそれほど良くはないと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>これまでのご意見を課題として整理するなら、応急的な耐震補強だけでは限界があるのではないかというところかと思います。</p> <p>市とすれば優先順位等があって悩ましいところなんでしょうが、中間報告の論点整理の段階では、ひとまず統合あるいは建替えといったところを意識した課題整理でいいのかなと思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>PFIなど民間手法を活用したやり方についてはどのように考えておられますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>具体的に建替えなどの話が出てくれば、当然検討に値すると思っています。また、これは庁舎だけに限らず、他の施設についても同じことが言えるかと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>あと、市庁舎等の括りの中に健康センターがございますが、これについて移転というのは難しいかどうかといった整理があるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>改築を予定しております労災病院のそばに敷地を準備しまして、介護関係の拠点施設等を持っていけないかという構想が現在ございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そうしますと、Aの市庁舎等については分庁舎の扱いというところで課題を整理していくということになりますね。</p> <p>それでは、時間も限られておりますので、次の分類に移らせていただきたいと思います。</p>

	<p>次はBの小学校でございます。小学校については、資料No.1の11ページから14ページまでとなっております。</p> <p>それから、小学校につきましては、「学校の位置及び通学区域」ということで参考資料のNo.3を事務局のほうで作成していただいております。</p> <p>あと、前回の委員会で出た質問として、一人当たり管理運営経費について差が出る理由は何かということについては、児童数及び施設の減価償却費が主な要因という認識でございます。</p> <p>小学校について現段階での課題の整理としましては、老朽化、耐震化の遅れ、児童数の減少、空き教室の増加があげられるかと思えます。</p> <p>また、検討の視点としましては、教育環境、防災拠点、空きスペースの有効利用、あるいは統合によるコスト削減の可能性、それから施設ごとの運営経費の差異という整理がされているかと思えます。</p> <p>そのほか何かございますでしょうか。</p> <p>B委員 子どもが健全に、また競争能力が育っていくために教室の適正数というのがあると思いますが、それも大きな要点だと思います。</p> <p>E委員 もし統廃合して小学校数が減少した場合、防災拠点施設としての問題はどうか。</p> <p>会長 防災拠点の施設が無くなってしまふ、あるいは遠隔地になってしまうということですね。</p> <p>B委員 統合されていく小学校を各コミュニティの施設として、そのコミュニティで維持管理していくということで、直接的な市の手を離れた施設となっていくかもしれません。</p> <p>C委員 魚津市はもともと1町11村が合併して出来た市なものですから、地域的なコミュニティというものは小学校が統合されてもずっと残っていくと思います。</p> <p>参考資料No.3を見てみますと、東部中学校のある場所が吉島校下なんですけど、吉島小学校というのは東部地区の中で最も大きいマンモス小学校であります。同じように西部中学校がある校下は本江校下なんですけど、本江小学校というのは西部地区の中で一番大きいマンモス小学校であります。おそらく将来的にそういったところに人が集まっていくんだらうと想定された場合、資料No.1の13ページに書かれている平成35年度までの想定を見てみますと、完全に西布施だとか片貝、松倉、上中島も小規模校としていわゆる複式学校の学校になっていくわけですが、こういったところはスクールバスなどを利用して統廃合をやらざるを得ないと思います。</p> <p>また、集中しつつある吉島や本江は残しながら、プラスしてどの程度まで残していけばいいのか、例えば道下小学校は完成したばかりで児童数の減少もそれほど見られないところもありますし、経田小学校は耐震化をし</p>
--	---

<p>会長</p>	<p>たばかりです。</p> <p>統合と考えたときに、漠然と考えるのではなく計画的に将来を見据えたうえで考えていくべきだろうと思います。</p> <p>小学校をいくつにしていくかというのは議論のあるところだろうと思います。</p> <p>長期的な視野をもって、小学校教育のあり方を考えていかないとこの課題には対応できないだろうと思います。</p> <p>あと、コミュニティの維持という点で見たときに小学校の役割というのが、おそらく統合に反対されておられる方々はそこが大変気になってらっしゃるんだと思いますが、コミュニティの維持と子どもたちの教育というのを、切り離すわけにはちょっといかないんでしょうけど、別の視点で考えていくというところが大事だろうと思います。</p> <p>先ほどもお話があったように、適正な児童の数、あるいは適正規模といったものについて、やはりそれを想定しての小学校の議論というのは外せないだろうと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>13 ページの表を見てみましても、平成 24 年度から平成 35 年度までは 11 年間しかないわけで、11 年間というのはじきだろうと思います。</p> <p>ここに書かれている過小規模というのが、大町、上中島、松倉、片貝、西布施ですが、つい最近まで坪野自身が過小規模という現実を皆さんが知っているわけですね。大町小学校であれどこであれ、あと 10 年もすればあの様になるんだよ、という認識を持ってもらって、とりあえずは 2 つ 1 つか 3 つ 1 つになるかもしれませんが、そうするとなんで自分達のところだけなんだというような色々な意見が出てくるかと思います。ただ、これにしても通過地点であって、その先で言えば例えば小中一貫校になるとすると、そこまでやるのであればみんな一緒じゃないかという意識を作り上げていくこともひとつの手立てじゃないかという気がします。</p>
<p>会長</p>	<p>少し長期的な見通しを示しながら市民の方々に議論や意見を求めるというふうな形にしていったほうがいいんですかね。</p>
<p>E委員</p>	<p>教育に関することですから、コスト重視というよりも教育環境をどう整えていくかということのほうが要素としては重要だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>確かにまずはそこだと思います。そうすると今度、我々のいわゆる行革目線で考えるときに、児童一人当たりコストというのがこれだけかかっていて、これを少しでも少なくしてそれを教育の現場で教育の質を改善するために使った場合どれくらいの効果があるのかということも大事なところなんだろうと思います。</p> <p>教育のコストというと非常に違和感を持たれる方もいらっしゃると思いますので、この辺の言い回しは少し変えてもいいのかもしれませんが、</p>



F 委員	<p>ただ、費用がかかるというのは厳然たる事実ですので、ここは我々としては誤解を受けないような形で指摘しておくべきではないかなと思います。</p> <p>今年度、松倉と坪野が統合されたわけですが、それでも 68 名ということで、とりあえず坪野の複式学級が解消されたものの小規模校には変わりはないということで、それが 10 年後となるとさらに減るということが見えています。</p> <p>保護者の中には、何度もくっついたりするのはやめて欲しいという意見が結構ありまして、今、吉島小から天神地区が抜けて西布施との統合に向けての統合の話が進んではいますが、保護者の中には長期的なスパンで考えていただいて何回もくっついていくのは労力がかかるので、教育的な面からもコスト的な面からも段階的な進め方は賛成できないといった意見があります。</p> <p>道下小学校にしましても新築はしたものの、国のほうで定数が見直されて 35 人学級が 30 人学級になると空き教室がないことから教室が足りないことになって生徒を受け入れられないことになってしまいます。</p> <p>せっかく何億もかけて新築したものの、定数の関係で教室が足りないといったことにもなりかねませんので、やはりもっと長期的な考え方で計画を立てていくべきというのがあります。</p>
会長	<p>やはり長期的な視点で見た施設計画が必要ではないかというところは、課題としてほぼ共通の認識としてあるということで、そこは中間報告でも載せていきたいと思います。</p>
E 委員	<p>12 ページ下の管理運営経費として各学校の H22 年度支出額が載っていますが、児童数で割っても小学校ごとに違う理由は何でしょうか。</p>
事務局	<p>古い小学校ですと修繕料がかさんだり、また、たまたまその年度に備品を購入したというようなことで違ってきています。</p>
会長	<p>続いて中学校でございしますが、中学校については特段の課題はなかったかと思いますが、この点はいかがでしょうか。</p>
A 委員	<p>さしあたっては東部中学校の耐震化だと思います。</p>
会長	<p>耐震化については、当然進めていかないといけないだろうと思います。</p>
事務局	<p>東部中学校の耐震化については、平成 25 年度に実施する予定です。</p>
会長	<p>続きまして幼稚園でございします。幼稚園については資料 No. 1 の 16 ページに概要が掲載されております。</p> <p>幼稚園については、特段、前回の委員会において質問は出てこなかったように記憶しております。</p>
事務局	<p>幼稚園については、経田幼稚園が平成 25 年度末をもって閉園し、大町幼稚園と統合するという方針を出したところであり、今年度、広報でもすでに告知してあります。PTA や地区の了解も得ております。</p>

E委員 事務局 会長	<p>ということは経田は今年募集なしということですね。 そうです。 統合したうえで、耐震化等の課題は大町幼稚園にあるという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局 B委員 事務局	<p>大町幼稚園の耐震化は行う予定です。 経田地区から大町幼稚園まではどのようにして通うのでしょうか。 通園バス等は特に用意しておりませんので、父兄の方に送迎していただくということになるかと思います。</p>
C委員 事務局	<p>なお、経田幼稚園の園児については、経田地区だけでなく市内全体として通園しておられましたので、該当する地区の了解も得たということであり ます。 保育園も含めて今後の方向とすれば、民間にシフトして行って、公立はゼロにしていくという考え方でしょうか。 どうしても山手のほうですと、民間の社会福祉法人などへお願いするということとはなかなか難しいのかなということ、やはり民間で経営していけるところは民間へ委ね、そうでないところは公立でやっていく必要があると思っています。ただ、その場合でも山間地で持てばいいのか、街中で持てばいいのかなど色々と議論の必要はあると思います。</p>
D委員 会長	<p>早く幼保一元化が進めばいいのですが。 幼保一元化の問題などについては、具体像がなかなか見えてこないところもありますし、保護者の幼稚園、保育園に対する意識の違いみたいなところも若干あるでしょうし、その中で公立と私立の役割分担を考え出すと、ますます色々と考えないといけないところが出てくるんですが、一つは公立で維持していかないといけないところはあるでしょうから、そこはしっかりやらないといけないけれども、例えば保護者の選択肢を増やすというところは公立よりもむしろ民間に期待して思い切って公立は手を引くほうがいいのかもかもしれません。</p>
事務局	<p>そういったところについて、この委員会でそこまで踏み込んで議論できるかというとなかなか難しいでしょうけれども、民間との役割分担は適正かという検討の視点を投げかけて、幼児教育の専門の方々あるいはご父兄の方々を含めて議論していただければと思いますので、民間との役割分担については、課題のほうに投げかけるような形で載せておいていただければと思います。</p>
会長	<p>市内には私立の幼稚園が1つありますが、そこも園児数が減少しているところでもあります。ただ、保育園でなく幼稚園に入れたいという保護者の方がおられるというのも事実であります。 そういった時に公が民間の邪魔をしてしまうというのはよくないです</p>

	<p>会長</p>	<p>し、民間でできるところは民間でやっていただくほうがいいのではないかと思います。</p> <p>ただ、親の中には公立であることの安心感を強く感じられる方もいらっしゃるでしょうから、そこのところは話をしてみないと分かりませんが、基本的には民間でできることは民間でやっていただくということだと思います。</p> <p>続きまして教育センターについてはいかがでしょうか。</p> <p>前回の委員会において、教育センターの必要性及び役割についてのご質問がございましたので、参考資料No.4というところでその役割等を整理していただいております。</p> <p>役割としましては、魚津市全体の教育の振興を図るということで、研修事業、生徒指導に関する事業、それから各種別教育の推進、調査研究等でございます。</p> <p>それからその他の機能としては、視聴覚ライブラリーと教科書センターを持っているということでもあります。</p> <p>市全体を通して教育をサポートしているということでは重要な役割を担っているということですが、この資料は担当課から出されたものでしょうか。</p>
	<p>事務局 会長</p>	<p>そうです。</p> <p>これについては、廃止はしなくてもいいとは思いますが場所を考えましょう、ということだと思います。</p>
	<p>B委員</p>	<p>一時期、視聴覚ライブラリーというのは随分話題になりましたが、実際のところ利用されてその効果というのはあったんでしょうか。</p>
	<p>会長</p>	<p>確かにあまり利用している人は少ないかもしれませんが、ますます今の時代になるとネットでほぼすべてのことができるとなると、若干その意義というのがあるのかという気はします。</p>
	<p>B委員 事務局</p>	<p>教育センターには職員の方が何人くらいおいでになりますか。</p> <p>職員が2人と事務補助員が1人、あと専門指導員が2人の計5人です。</p> <p>教育センターは住吉小学校の横にあります。先ほど説明いただいた事業と、不登校の子どもたちがそこにきていただいて、学校に戻れるようにカウンセリングしていくことをしております。</p>
	<p>E委員 事務局</p>	<p>教育委員会との役割の違いというのはどういったところでしょうか。</p> <p>教育センターは教育委員会の中にある組織の1つで、学校教育課につながっている組織ということになります。</p>
	<p>D委員 事務局</p>	<p>教育委員会と離れていなくてもいいということですね。</p> <p>第一分庁舎でも本庁舎でも他の小学校でも、どこにあってもいいということですね。</p>

D委員	参考資料No.4に書かれている内容からすれば、職員の人数が非常に少ないと思います。この施設に子どもたちがくるんですか。
事務局	そうです。ただ、なかなかここにも来れないといった子どももいます。
F委員	保健室登校すらできないというか、とにかく学校に行けない子で、ちょっと外に出れる子が教育センターへ通って、その結果、学校に行けるようになった子も何人かいるといった実績もあるみたいです。
会長	逆に学校の中にあるとちょっと具合が悪いですか。
事務局	今、住吉小学校の横にあるわけですが、問題となるのは、ほかの生徒たちと顔を合わせるといふことにもなり得るので来づらいということもあるらしいので、学校じゃないところにあったほうが本当はいいのかもしれない。
A委員	総合体育館にあってもいいですし、学びの森交流館にあってもいいと思います。
会長	その役割を果たすうえで、現在の場所がベストなのかというところは課題だと思います。
C委員	自然の中にある学びの森のほうがよっぽどいいと思います。
会長	続いて、先ほど少しお話も出ておりましたが、Cの児童福祉施設に移りたいと思います。先ほどお話も出ました保育園ですが、いかがでしょうか。
事務局	保育園は19ページから21ページまでにその概要が記載されています。保育園につきましても、公立の魚津愛育園が平成25年度末で閉園ということで、今年度は募集停止としており、保護者や地区の皆さんの了解を得て閉園ということを決断いたしました。
会長	民間と公立というところで、保護者の方々の中で公立のほうが安心だといった意識はあるのでしょうか。
F委員	特になくと思います。自分の勤めている会社の関係と、延長保育の違いもありますし、美術とか音楽に力を入れているところとか、将来的に小学校に行く関係で、小学校に近い所を保護者の方は選んでいると思います。
B委員	ただ、依然、青島保育園を民営化にするといった案が出たときは、安心できるとかで官尊民卑の意見があったんじゃないですか。
事務局	そういった話はありません。
B委員	時間が経過したから少しずつそういった意識は薄れているかもしれませんが、根底にはそういった考えはないわけではないと思います。
会長	補完していくという形でいえば、むしろあまり民間の保育園で運営しづらいところを公立が運営していくという形がベストだと思います。 ただそうすると、園児一人当たりコストが高いところだけが公立に残ることになってしまうんですかね。でもそれはそれで仕方ないのではないかと思います。

B委員 事務局	<p>市として民営化にしていきたいという方針はあるんですか。</p> <p>民間のほうも、現在、受け手がいない状況かと思っております。</p> <p>基本的には、公立と私立でかなりの数の園があるなかで園児数が減少していることから、公立の定員数を減らしながら民間のほうへシフトさせていっています。</p>
E委員	<p>19 ページの資料についても民間の園児数が伸びてきていますけど、逆に民間を圧迫できないということで、公立の定数を減らしてきているということです。その関係で資料の 21 ページについてですが、もちろん保育士の人件費は公立のほうが高いのですが、逆にそういった非効率なところを公立が担っているということと、園児数を民間へシフトさせていっているということで、園児一人当たりの人件費についても民間に比べ公立は上昇傾向にあるというのは間違いないと思います。</p>
E委員 事務局	<p>公立と私立の単純平均を計算したんですが、公立保育園の場合、園児一人当たり 1,267 千円、私立保育園の場合、園児一人当たり 630 千円ということで、公立は私立の倍かかっていることになります。</p>
F委員	<p>私立のほうサービスがいいとかいわれたりしますが、決してそうではないんですけど、例えば来週からすぐに延長保育してくれといわれた場合、民間だとすぐに対応できますので、そういった機動性の点からいえば民間のほうがいいということもいえますが、サービス内容から見れば公立だから私立だからということで遜色はないものと思っております。</p>
F委員	<p>延長保育とか早朝保育とか、保護者の方々はそういった点を重視して園を選んでおられると思います。</p> <p>あと、今は土曜日の保育も難しくなっています。土曜日に預けたいときは前もって届出を出さないと難しいみたいで、昔に比べたら今は公立も私立も預けにくくなってきていると思います。</p>
会長	<p>今は民間を圧迫しないということで、公立の定員を減らしてきているという説明でしたけど、すべての園を少しずつ減らすというのはちょっと無理なのかもしれないですね。維持費とか耐震の強度・必要性を考えると、どこかを廃止していくというやり方でないといけないかなという気がします。</p>
F委員	<p>最近、小1ギャップというのがありまして、小学校1年生になった子どもたちに落ち着きがないということがあるものですから、最近言われているのが幼・保・小連携ということで、そういう方面でPTAも連携して、幼・保の保護者の方と小学校PTAとで連携して情報交換をしています。</p> <p>それを踏まえて考えると、将来的には幼・保・小・中が連携できるような配置を考えていけば一番いいのかなと思います。</p> <p>東西の中学校の配置をみて、小学校の数をみて、そのまま地元の保育園</p>

B委員	<p>からその小学校、中学校に行くといった流れが理想的だろうと思います。</p> <p>公立保育園の定員を削減しながら民間へシフトしていくということで、公立保育園の削減する目標数値というのはあるのですか。</p>
事務局	<p>今のところありません。</p>
B委員	<p>一方で施設の老朽化という問題もあるわけで、今のままでいくとまた新しい保育園を建てて、ということになっていく懸念があるものだから、結果的には民間にシフトしながら老朽化したときには民間の力でやってくださいというのがいいのかなと思ったりもします。</p>
会長	<p>老朽化していった施設の更新が必要だというのはもちろん財政的に大きな問題ではあるのですが、たぶんこういったことはサービスを考えるひとつのきっかけだと思います。その時にこれは更新しません、やめましょうといったときにさきほどF委員がおっしゃられたような幼・保・小の連携といったことですかそういった問題も考えないといけないといったことになるかと思しますので、耐用年数がきました、あるいは耐震化してませんといったときにある程度のビジョンがないと動きづらいというのはあると思います。その辺りを庁内で連携をとって考えていただきたいと思いますが、そういった点も課題かと思えます。ハード面での制約とソフト面でのプランを整合させていくという全体的な課題だと思います。</p>
会長	<p>続いて児童センターに移りたいと思います。資料No.1の22ページから23ページに記載がされております。これも老朽化が著しいというのが課題であるかと思えます。特にこぼと児童センターが古くなっています。</p> <p>これは、例えば学校とかに併設するといったことは考えられないでしょうか。独立の施設として必要でしょうか。</p>
事務局	<p>詳細については確認しておりませんが、今後の方向とすれば併設ということで、施設の有効活用からすればあっていいと思っております。</p> <p>制度的な問題もあるかと思えますが、国の流れとしてはそういったところはなだらかにといいですか、締め付けというよりは柔らかくなってきていると思います。</p>
B委員	<p>参考資料No.7の児童センターに関するアンケートで、概ね皆さんが満足しているという中で、満足していない方の多くは時間が遅い、時間が早いという問題があるのですが、これは改善の余地はあるのですか。</p>
事務局	<p>具体的に把握はしておりません。</p>
B委員	<p>この話に限らず、行政としてどこまでのサービスができるのかというところは悩ましいところかと思えますが、少しでもサービスを広げていくというときには市の職員だけではとてもじゃない限界があると思います。</p> <p>そういったときによく言われるのが、高齢者の元気な方々の力を導入していくといった手立てもこれから考えていく時代だと思います。</p>

会長	<p>B委員が今おっしゃられたように、運営面、ソフト面ではそういった工夫の余地はあるんだろうと思います。</p> <p>ただ、ハードとなると、例えばこの児童センターについて老朽化したものを修繕してそのまま使い続けるのか、それとも新築するのか、やめるのかということだと思います。</p> <p>ちなみに施設譲渡による民営化は可能でしょうか。</p>
事務局	<p>児童センターではないですが、身障関係のセンターを昨年度に民間譲渡した実績があり、所管的にも同じ厚労省ということですからそれほど問題はないものと考えております。</p>
会長	<p>施設の集約化だとかあるいは民営化の可能性というものを少し探っていただいたほうがいいのかと思います。また、ソフト面では色々な工夫を凝らしていただけるようなところがあれば、財政的な負担は少し軽くなるとおもいますので、そういったところも課題として書いておいていただければと思います。</p>
C委員	<p>施設譲渡による完全民営化を考えた場合、例えば収入としてどういったものがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現時点では毎月の利用料をとっておりますが、とてもそれだけでは回らないので、現在、指定管理をしておりますが、同じように委託料を払ってというような形になるだろうと思っております。</p>
B委員	<p>施設の役割とすれば大切なものだと思います。</p>
会長	<p>続いて、つくし学園でございます。つくし学園については24ページに概要が記載されております。</p> <p>この施設は魚津市だけでなく、広域的な施設ということでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
A委員	<p>こういった施設は県内にどれくらいあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>富山、高岡、砺波、魚津と、圏域に1つずつ程度だと思います。</p>
D委員	<p>対象者はどういった方ですか。</p>
事務局	<p>未就学児です。</p>
会長	<p>例えば、老朽化に伴って修繕や更新が必要ということになれば、費用負担は関連するところから応分の負担を求めるということにはならないのでしょうか。</p>
事務局	<p>当然、応分の負担を求めることになると思います。</p>
会長	<p>どちらかというと、魚津市単独でこの施設をやめますというのはなかなか難しいということですね。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
C委員	<p>こういった施設は手につけられない、逆に応援してあげたいですね。</p>

<p>会長 A委員 事務局 D委員</p>	<p>この施設は、検討対象としての種類とは少し違うのかもしれませんが。児童数は増えていますか。 少しずつ増えております。 これまでは小学校に入ってから多動児とかが分かっていたのが、低年齢のときから医学的に分かるようになってきたこともあって人数が増えているみたいです。</p>
<p>会長</p>	<p>続いてDの老人・障がい者福祉施設に移りたいと思います。 まず、老人福祉センターです。その概要が26ページから27ページにかけて記載されております。 課題としては老朽化が進んでいる、利用者数が減少しているということと、検討の視点として利用料金は妥当か、あるいは他の施設でのサービス供給は可能かということであります。</p>
<p>E委員 事務局</p>	<p>経田福祉センターと経田ふれあいの家はどのくらい離れていますか。 経田福祉センターは小学校の少し海側で、経田ふれあいの家はさらに海側の街中の一角にあります。 福祉センターというのは昭和40年代、50年代はじめくらいまではやりの施設で、各市で競争するように建設しておりまして、いわゆるお風呂があって、大広間があって、舞台があって、機能回復訓練として色々な健康器具もあって、各種催しもあったりして、百楽荘は西部地区、経田福祉センターは東部地区を対象として、地域性みたいなもので2箇所作ったんだらうと思っております。 度々、利用率云々が話題になったりして特に経田福祉センターについて利用者が少ないことから廃止という話が出たりもしますが、その度に利用を促すというか、利用人員を増やしたりしながら現在に至っているところでありまして、今は色々なお風呂施設が出来たりしていることから、一部の高齢者の利用に限られているというのが現状であります。</p>
<p>B委員 事務局 E委員 事務局</p>	<p>土日もやっていますか。 土日は休みです。 有料でしょうか。 入浴のみ有料です。 2施設とも社会福祉協議会へ指定管理で委託しています。</p>
<p>会長 D委員 事務局</p>	<p>利用形態としては入浴が主ですか。 百楽荘でいえば、料理教室や手芸教室、将棋を打ちにいたり色々な利用をしているみたいです。経田はあまり分かりませんが。 経田も似たような使い方だと思います。 経田は公民館に併設のような形になっておりまして、公民館は3階に大広間があり高齢者に使いにくいという話があるものですから、維持管理費</p>



		<p>がかかるとお風呂をやめて、お年寄りにも使いやすいように、センターの1階部分を公民館の広間として利用できないか、担当課のほうで考えているということでもあります。</p>
会長		<p>教室とかは集約できないかというところが検討の視点だと思います。</p>
B委員		<p>百楽荘をみると、単純計算で1日当たり50、60人以上の方が利用しているんですね。</p>
事務局		<p>ある程度固定された方が多いみたいです。</p>
会長		<p>施設の建設年度とか見てみると、そろそろ考えないといけない時期かと思えます。その時に、活用のされ方は尊重しながらそれを出来るだけ損なわないかたちで他の施設と統合などできないかということですかね。</p>
A委員		<p>介護保険料や医療費が減らせるといったような成果が生み出せる施設としていくべきではないかと思えます。</p>
会長		<p>高齢者ふれあいの家についてもご議論いただければと思いますが。</p>
D委員		<p>ふれあいの家にはお風呂はありませんか。</p>
事務局		<p>片貝にはあります。</p>
		<p>ふれあいの家はいわゆる空き家になったものを壊すのがもったいないということで寄付していただいて、高齢者に集まっていただく場として活用していこうということで始めました。</p>
会長		<p>形式的にせよ直営ということになっていると、耐震化や老朽化といった問題が出てくるということだと思います。</p>
		<p>こういった施設は地元で委ねることができないか、あるいは公民館と統合はできないかということになるかと思えますが、それでも地区に欲しいというときはその地区の判断で、地区に運営をお願いするといったやり方でいいのではないのでしょうか。</p>
会長		<p>本日の最後、障害者交流センターについてですが、これはまだ新しいですよね。ただ、利用者が減少しているということが課題であるということでもあります。</p>
		<p>利用者が減少している理由については気になるころではありますけれども、ハード面の施設として、これを直ちにどうするというのではなくかと思えます。</p>
		<p>この施設は他の施設が入れるような空きスペースとかはないのでしょうか。</p>
事務局		<p>ないかもしれません。</p>
会長		<p>次年度に提言を出していくときには、そういった点も頭に置きつつ提言を出していかないといけないと思えます。</p>
A委員		<p>ただ、施設の内容的・機能的に他の機能と一緒にできるかというところちょっと難しいのではないかと思えます。</p>

17 : 10	<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>それでは、本日はDの老人・障がい者福祉施設までひとまず終わったところですが、残りE以降に積み残しがございます。</p> <p>E以降には大事なところもいくつかございますが、その部分につきましては次回に継続というふうにさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは事務局のほうから次回以降の予定についてお願いします。</p> <p>本来のスケジュールであれば、次回はヒアリングを予定しておりましたが、積み残しがございますので、次回についても継続して課題の整理をお願いしたいと思います。</p> <p>その後、いただいた課題やご質問などに対するヒアリングを、例えば会議室でやったほうがいいのか、それとも現地をみながら担当課を呼んでやったほうがいいのか改めてご相談させていただければと思います。</p> <p>また、第4回以降のスケジュールについては、次回の委員会でお示ししていきたいというふうに考えております。</p> <p>それで次回の委員会の日程ですが、12月25日（火）午後2時開催ということをお願いしたいと思います。</p> <p>場所については、改めてご案内させていただきたいと思います。</p>
	<p>会長</p>	<p>それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。</p> <p>本日はお忙しいところありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上終了。</p>